

視聴覚教育

NO. 362
発行日
22. 5. 21

発行
岡崎市AVL
編集
現職研修委員会
学習情報部

ICT活用再スタート

現職研修委員会学習情報部長 山田賛平

平成22年度が陣容新たにスタートしました。昨年度の全国大会の成果と資産をさらに生かしていくことが求められる今年度の重点目標は、次の一点に絞られます。

『ICT(情報コミュニケーション技術)の幅広い活用を進める。』

さて、この頃のテレビでは、「なぞかけ」が流行しています。くとかけてくと解く、その心は、という寄席でおなじみの言葉のお遊びです。一見関連がないと思える二つの言葉が実はつながっているという意外性で、面白さを生んでいます。意味でなくても、音が同じというダジャレを含んで、そのほかばかしさも面白く感じます。少し前の、どれだけ漢字や言葉を知っているかを競っていたクイズ番組から一歩進んで、言葉の持ついろいろな要素をつなぎ合わせるといった遊びに展開したのかなと感じています。言葉の持つ要素には、意味、読み、文字の形、由来、イメージなどがあります。特に日本語では、単なる記号以上のものが言葉や文字に含ま

視聴覚用語 『クアッドコア』

単一パッケージ上に4つのコアを搭載したCPU。4つのコアは独立しているため、互いに影響されることなく動作できる。処理を分担することで性能が向上する。人間でいうと、脳が4つあるようなもの。

れていて、それらを豊かにするほど、「なぞかけ」を楽しむことができます。日々の学習においても、言葉を十分に使うこと、言葉が持つイメージを豊かにすることが大切です。赤い色を「赤」と認識し、伝達・保存のための記号として利用すると共に、「赤」のもつイメージを膨らませる、いろいろな赤を把握し、赤がもつ特性を理解していくようなことが授業でなされていると思います。

そういえば、若いときに、小学校国語・説明文の学習の場で挿絵や写真をふんだんに使うことの意義を聞いたことがあります。まずイメージありきで、どのように文章で表しているかを学習するということです。具体的なイメージと抽象表現である言葉との結びつきを図るのがねらいです。普段の表現でも、イラストや挿絵、写真などを使って、言葉を添えていけばとても分かりやすいものになります。

各教室に大型テレビが設置された今、写真や動画の提示が容易になり、分かりやすい授業が展開されるに違いありません。活用事例を増やすこと、それが、私たちの大きなテーマです。

|| 視聴覚教育あれこれ ||

平成二十二年 度 学習情報部方針決定！

研究主題

デジタル社会における豊かな学びとメディア利用のあり方を追究しよう

研究の重点

- ① 岡崎市教育ネットワークの利用環境整備と活用法の研究
 - ② 校内ローカルエリアネットワークの利用環境整備と活用法の研究
 - ③ 50インチデジタルテレビなどの視聴覚機器やコンピュータの効果的な活用法の研究
 - ④ 岡崎市自作ビデオの活用促進と自作視聴覚教材・デジタルコンテンツの制作
 - ⑤ パソコン教室の総合的な管理・運営方法の工夫
 - ⑥ 学校教育放送・教育チャンネル、校内放送の活用法の研究
 - ⑦ 情報モラルの育成や情報のセキュリティ意識の向上のための工夫
- 主任会の活動**
- 〔広報部会〕：授業実践や研究集積、研究誌や月報の発行、学習情報部HP管理等
 - 〔研修部会〕：各教科領域に対応して活用できるデジタルコンテンツの収集、導入学習ソフトと学習指導との関連表作成、機器調査〔自作部会〕：自作教材ビデオ・自作マルチメディア教材の制作とその活用事例研究等
 - 〔教科部会〕：「視聴覚教材・機器利用の手引き」発行、ソフトの利用促進と活用法の研究、情報モラル教育の授業実践

平成二十二年組織

■視聴覚ライブラリー

所長（教育長）

江村 力

副所長

宮田 典彦

専門主事

本間 茂夫

職員

服部 光晴 西尾 友希

■学習情報部組織

部長

山田 賛平（額田中長）

大岡 久芳（羽根小長）

近藤 博之（藤川小長）

担当指導主事

小田 哲也（教育委員会学校指導課）

指導員

島田 繁直（根石小）

世話係

内田 雅之（井田小）

岡 秀之（六北中）

各部世話係

〔広報〕

神野 裕美（六西小）

川本 祐二（美川中）

〔研修〕

笠間 大樹（額田中）

杉山 康子（生平小）

〔教科〕

村田 貴志（甲山中）

山口 秀樹（根石小）

〔自作〕

近藤 雄一（東海中）

三輪 恭之（六ツ美中）

レッツ・トライ

《研究会》

・三教研发夏季研修会（8月上旬）

・放送教育研究会全国大会および視聴覚教育総合全国大会（合同開催）

平成22年8月9日（月）・10日（火）

国立オリンピック記念青少年総合センター

この他、本年度も、多くの大会・研究会が予定されています。是非ご参加ください。

定されています。是非ご参加ください。

各種大会 ・研究会の案内

《研究論文》

・インターネット活用教育実践コンクール

・松下教育研究賞、松下教育研究助成応募

・東京書籍教育賞

・上月情報教育研究助成

・ちゅうでん教育振興助成

・ちゅうでん教育大賞

・実践事例アイデア集（中学校）

県や市の教育論文をはじめ多くの応募機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

ライブラリーだより

新年度がスタートしました。ライブラリーでは、機器・教材の活用について、社会教育・学校教育関係者のサポートをしています。相談やご利用をお願いいたします。

●教材・機材をご利用ください！

平成21年度に購入したDVD教材の貸し出しを開始しました。NHKスペシャル関係の教材（「人体」等）も貸し出し可能になったものが多数あります。アニメーションDVDも多数あります。「視聴覚教材・機器利用の手引き」にソフト一覧が掲載されています。教室の大型デジタルテレビでの視聴用教材として、また昼の校内放送用として、ぜひご利用ください。

●視聴覚ライブラリー出前講習会

～撮影、編集支援を開始します！～

子供たちに授業でビデオ制作をさせたい、先生方にビデオ制作の講習会をしたい場合など、ライブラリー職員が手伝いに伺います。また、学校行事等の撮影、編集や番組制作の支援も行います。視聴覚ライブラリーに、気軽に相談ください。（視聴覚ライブラリーからミックスの教育チャンネルへの配信や貸し出し、ダビング利用の許可をいただける場合に限りです。）

●「視聴覚教材・機器利用の手引き」第15集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなど、大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご利用ください。